

論語と諸子百家を読む

「中庸」編

12月3日(月)開講
4か月8回講座

古代中国、春秋戦国時代（紀元前 770 年～同 221 年）は多数の雄国、諸侯が覇を競う下克上の乱世でした。そんな時代、諸侯に独自の政治思想を説いたり、相手に打ち勝つ戦略戦術や富国強兵策を提案する思想家が輩出し、激しく論駁し合いました。彼ら学者とその学派を総称して「諸子百家」と呼びます。

「諸子」は人物、「百家」は学派を指します。儒家の始祖である孔子の教えは、曾子・子思・孟子・荀子等によって継承され、漢の武帝の時（前 136）に国教となり、以後清代まで支配階級の指導理念になりました。

今回読む「中庸」というのは、漢代に定まった五経（易経・書経・詩経・礼記・春秋）の一つ礼記（41 編）の中の一編（第 31 編）です。六朝・宋頃から尊重されだし、唐代には、李こう、韓愈などが尊び、宋代に入るとますます重んじられました。そして、二程子（程顥・程頤）は、大学、論語、孟子と共に門人の教科書として使いました。その後、朱子（熹）が『四書章句集注』を完成して、経典としての『中庸』の地位が確立しました。

著者は孔子の孫で、曾子の門人である孔伋（字は子思）であるとされています。内容は第一章から第二十章までは「中庸の徳」について述べており、第二十章の後半から最後の第三十三章にかけては「誠を身に付けるべきこと」を中心に述べています。

講座では、朱子の『中庸章句』を使って学習し、今日もよく使われる「中庸」とか「誠」とかの言葉の意味をゆっくり考え、理解をしたいと思います。

◆……こんな方にお勧めしたい講座です……◆

毎日の生活に追われて自分を省みる余裕がない方
かつて愛読した中国の古典にもう一度親してみたい方
教養を身につけたい方
中国に関心を持ち、中国文化を学びたい方

日 程 ■ 平成 30 年 12 月 3 日（月）～ 平成 31 年 3 月 18 日（月）

【12月】	3日・17日	} 月曜日 10:30～12:00
【1月】	7日・21日	
【2月】	4日・18日	
【3月】	4日・18日	

ご見学日

11月5日、19日

ご予約ください。

講 師 ■ 元 福井大学教育地域科学部教授 前川幸雄

受 講 料 ■ 12,090円（全8回分、一括前納）

資 料 代 ■ 3,200円（受講料と併せてお支払いください。）

入 会 金 ■ 新規ご入会の方は540円（継続更新料は270円）

持 ち 物 ■ 筆記用具

*お申し込みが一定数に満たない場合、講座を延期または中止することがあります。

*お申し込みの取り消し、無断キャンセル、中途解約には所定の費用を適用します。詳しくは「講座ガイド」でご確認ください。

*講師のやむを得ない都合により日程が変更になる場合があります。予めご了承ください。

*料金はすべて消費税込みの総額で表示してあります。

お申し込み・お問い合わせ ● 福井カルチャーセンター

福井市大手3-4-1・福井放送会館5階

電話(0776)23-3000

<http://291cc.jp>